

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 <input type="checkbox"/> 支援部門			こども-16 子育て支援事業
主管課	こども相談課	関連課	こどもみらい課	
分野名	健康福祉			
目標 (目標値)	子育ての心理的負担を軽減し、安心して育てられる環境を作る。 在宅子育て家庭に対する支援の充実を図る。			

人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考	
	人口	177,895人	177,224人	177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯		
事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	2,042	1,738	4,375		
	(国・県)	17	0	0		
	(負担金等)	4	0	0		
	(一般財源)	2,021	1,738	4,375		
	人員配置数	0.5人	0.4人	0.5人		
	人件費(千円)	3,890	3,214	4,321		
	協働のパートナー	NPO法人ふぁみりい	NPO法人鎌倉市ファミリーサポートセンター市民会議	NPO法人鎌倉市ファミリーサポートセンター市民会議		
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	5,932	4,952	8,696		
	市民1人当りの経費(円)	33	28	49		
	対象者1人当りの経費(円)					

ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒												

指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
利用料助成件数	△	目標値	350	350	350	350	350
		実績値	383	313	311	338	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		
在宅子育て家庭支援事業	1,899	子育て支援事業の一部	2,728	今後の方向性	B	理由・手法 在宅で子育てをしている家庭がファミリーサポートセンターや子育て支援事業者を利用した場合の経済的な負担を緩和する数少ない制度であるため。保護者の疾病等で一時的に児童を養育できなくなった時に保護する等のセーフティーネット的な制度であり、現状を維持しなければならないため。
子育て支援事業	143					
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	在宅子育て家庭支援事業利用料助成について、事業を継続する。										
課題解決のための取組	現時点では、平成22年度の要綱改正により予算の範囲内での助成が可能となっている。					取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	申請に必要な書類等手続きが複雑でわかりにくい、簡素化し、誰でもわかりやすいものにする必要がある。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	保育園・幼稚園を利用していない在宅での子育て家庭を支援する施策として、事業を継続する。					A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		➡	B		
※ <input type="checkbox"/> 事業完了											

評価者名 こども相談課長 平井あかね

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
在宅子育て 家庭支援事業	ファミリーサポートセンター(FSC)及び子育て支援事業者を利用した場合の利用料の一部助成により在宅子育て家庭の負担の軽減を図る。				○	○	○	○	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		1200	在宅子育て家庭支援事業利用料助成	2,195	1,899	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了					○	○	○	○	
子育て支援 事業	保護者の疾病等の理由により、家庭においてが児童を養育することが一時的に困難となった場合などに、児童養護施設において一定期間、養育・保護を行う。				○	○	○	○	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		1221	子育て短期支援事業補償保険	28	27	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了	1221	子育て短期支援事業業務委託料	503	116	○	○	○	○	
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□ 事業完了									